

# 事業報告書

## 富山県農業共済組合 事業報告書

### (1) 農作物共済関係

令和4年度（令和4年4月1日 から令和5年3月31日まで）

#### (引受)

年産	共済目的	組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) + (B)
		人	ha	円	円	円	円
令和4年産	水稲	11,100	2,632,867	22,561,401,438	11,742,731		
	前年度比	△ 1,417	△ 611,117	△ 2,335,642,680	569,955		
	麦	330	222,534	628,385,836	24,474,040		
	計	延実 11,430 11,156	2,855,401	23,189,787,274	36,216,771	26,424,218	62,640,989
令和5年産	麦	309	197,520	591,382,487	21,983,963		
	前年度比	△ 21	△ 25,014	△ 37,003,349	△ 2,490,077		

#### (被害)

共済目的	被害組合員数	共済金	共済金 共済金額
	人	円	%
水稲	154	28,683,126	0.1
前年度比	△ 181	△ 61,893,275	△ 0.3
麦	22	1,761,079	0.3
前年度比	△ 101	△ 24,916,542	△ 2.9
計	延 176	30,444,205	0.1

#### 水稲

##### (引受)

引受面積は、収入保険への移行や水田の改廃、転作の深掘りなどにより、前年に比べ6,111ha減少し26,329haとなった。引受戸数は、収入保険への移行や高齢者の離農、担い手等への面積集積が進み1,417戸減少し11,100戸となった。

##### (被害・作柄)

5月は高温・高日射で推移し、田植後の田水温が近年並みであったため活着は良好であった。コシヒカリの出穂期は平年より3日早い7月30日、成熟期は平年並みの9月10日となった。北陸農政局富山県拠点による作況指数(農家節目ベース：1.90mm)は101の「平年並み」で、収量は523kg/10a(平年比3kg減)となった。

被害状況では、出穂期の高温及び8月中旬の日照不足により品質低下、登熟不良となった。また、8月中旬の大雨、9月の台風の影響による強風のため倒伏被害や地滑り、土砂流入の被害が発生した。中山間地域においてはイノシシやサルによる踏み荒らしや食害による被害が発生した。

#### 麦

##### (引受)

令和5年産麦の引受面積は、収入保険への移行により前年産より250ha減少し1,975haとなり、引受戸数は前年より21戸減少し309戸となった。

#### (支払)

共済目的	支払月日	実支払共済金	共済金支払財源					実支払共済金 共済金
			保険金	手持掛金 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額	その他	
		円	円	円	円	円	円	%
水稲	令和4年12月9日	28,683,126		23,259,710			0	100.0
	令和4年12月27日							
麦	令和4年7月27日	1,761,079		1,761,079			0	100.0
	令和4年12月9日							
計		30,444,205	0	25,020,789	5,423,416	0	0	100.0

#### (被害)

播種後の10月以降の降雨により、排水条件の悪い圃場を中心に土壌湿潤害が発生し生育不良となった。また、一部の地域ではイノシシによる踏み荒らしの被害や収穫前の降雨、強風により倒伏する被害が発生した。

#### (損害防止)

- 組合員が事故の未然防止又は軽減を図るため必要な薬剤等の購入経費の一部として32,962,250円を交付した。(内訳：水稲28,956,774円、麦4,005,476円)
- 鳥獣害防止対策支援事業として未然防止対策を行った組合員等(70件)に対して4,366,000円を交付した。
- 本県水稲の主要病害虫である、いもち病、紋枯病、ニカメイチュウ、ウンカ類、カメムシ類等による災害の未然防止を図るため、予察灯調査(9カ所)、病害虫定期定点(すくいとり等)調査ほ(42カ所)を設置し、調査資料に基づく地域ごとの予報・情報等に協力した。
- 気象災害を未然に防止するため、NOSA I 気象情報(県内21ポイント)の提供を行った。

(2) 家畜共済関係

( 引 受 )

区分	項目	組合員数	有資格数	事業計画数	引受頭数		引受頭数 事業計画頭数	共済金額	徴収共済掛金	納入保険料	交付金	手持共済掛金
					区分	頭						
死亡 廃用 共済	搾乳牛	29	1,475	1,960	一般	1,948	96.5	575,731	22,102,878	0	39,809,796	79,464,798
					変更	△ 57						
	育成乳牛 (子牛等)	26	557	810	一般	702	86.4	221,296	1,298,676			
					(38)	変更						
	繁殖用雌牛	12	556	410	一般		387	92.0	120,278			
					変更	△ 10						
	育成・肥育牛 (子牛等)	31	2,688	3,410	一般	3,733	113.8	973,576	15,072,261			
					(348)	変更						
	種豚	1	1,452	20	一般		26	80.0	1,567			
					変更	△ 10						
肉豚	4	14,935	7,800		6,737	86.4	84,713	13,918				
種雄牛	0	0	0		0	-	0	0				
計	103	21,663	14,410	一般	13,533	94.4	1,977,161	39,655,002				
				変更	70							
疾病 傷害 共済	乳用牛	30	2,032	1,970		2,002	101.6	36,398	12,390,855			
	肉用牛	30	3,244	2,570		2,699	105.0	20,166	2,446,752			
	種豚	0	1,452	0		0	-	0	0			
	種雄牛	0	0	0		0	-	0	0			
	計	60	6,728	4,540		4,701	103.5	56,564	14,837,607			
<b>合計</b>	<b>163</b>	<b>28,391</b>	<b>18,950</b>		<b>18,234</b>	<b>96.2</b>	<b>2,033,725</b>	<b>54,492,609</b>	<b>0</b>	<b>52,979,946</b>	<b>107,472,555</b>	

( 引 受 )

死亡廃用共済では、令和3年度引受分の期末調整(変更)を行った。令和4年度期首の引受(一般)は死亡廃用共済では、計画に対し搾乳牛は12頭の減、育成乳牛は108頭の減、繁殖用雌牛は23頭の減、育成・肥育牛は323頭の増、種豚は4頭の減、肉豚は1,063頭の減となった。疾病傷害共済では、計画に対し乳用牛は32頭の増、肉用牛129頭の増となった。

令和4年度家畜共済損害防止事業

( 事 故 )

区 分	死 亡 廃 用 共 済				区 分	疾 病 傷 害 共 済	
	死亡頭数	廃用頭数	総頭数	支払共済金		件 数	支払共済金
	頭	頭	頭	円		件	円
搾乳牛	136	19	155	39,893,195	乳用牛	2,353	31,844,841
育成乳牛 (子牛等)	29	0	29	4,465,187	肉用牛	1,487	14,855,715
	(10)						
繁殖用雌牛	6	3	9	2,412,894	種 豚	0	0
育成・肥育牛 (子牛等)	137	8	145	21,670,425	種雄牛	0	0
	(15)						
種 豚	0	0	0	0	計	3,840	46,700,556
肉 豚	0	0	0	0			
種雄牛	0	0	0	0			
計	308	30	338	68,441,701			

( 事 故 )

死傷事故では、搾乳牛で155頭（前年対比22頭の減）、育成乳牛で29頭（前年対比5頭の増）、繁殖用雌牛で9頭（前年対比2頭の増）、育成・肥育牛で145頭（前年対比28頭の増）となり合計で338頭（前年対比13頭の増）の事故が発生した。支払共済金は、令和3年度引受の期末調整による支払共済金の変更分を含め6,844万円（前年対比1,250万円の減）となった。種豚及び肉豚については、事故除外方式での加入のため、対象となる事故は発生しなかった。

病傷事故では、乳用牛で2,353件（前年対比96件の増）、肉用牛1,487件（前年対比91件の増）となり、合計で3,840件（前年対比187件の増）となった。支払共済金は4,670万円（前年対比449万円の増）となった。

( 損害防止 )

実施項目	対象頭数 又は回数	経 費	摘 要
一般損害防止事業 医薬品配付	牛 4,545	991,635	医薬品名： ポバクチン、デュファゾールAD3E、ポピドン ヨード2%、ウルソ散、セファロニウムD、金 鳥ETB乳剤、S&Aイーストカルチャー、ネズ ミ取りシート、パンカルG散、セファメジン DC、ピオエンチ、カウストン100K、カウスト ン200K、ピタロング、パコマ、ネオハエトリ シート、ネボレックス
	豚 7,798	115,181	
	計 12,343	1,106,816	

( 損害防止 )

一般損害防止事業として組合員へ医薬品を配付した。

( 家畜診療所 )

獣 医	管 内		診 療 件 数		そ の 他	
	有資格頭数	加入頭数	共済事故	事 故 外	予防接種	人工授精
	頭	頭	件	件	頭	頭
3人	5,276	4,701	1,013	1,680	1,541	99

( 家畜診療所 )

家畜診療所では、通常の診療業務や人工授精のほか、伝染病予防注射を実施した。

(3) 果樹共済関係

(引受)

① 収穫共済

年度	果樹区分	組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) + (B)
		人	a	円	円	円	円
令和3年度	りんご	82	2,997	67,480,000	2,211,241	/	/
	なし	83	2,476	81,400,000	1,055,880		
	かき	39	1,145	14,820,000	199,855		
	計	204	6,618	163,700,000	3,466,976		
令和4年度	りんご	77	2,853	74,200,000	2,443,702	/	/
	なし	71	1,994	68,800,000	1,198,821		
	かき	36	1,071	13,440,000	106,473		
	計	184	5,918	156,440,000	3,748,996		
前年度比		△ 20	△ 700	△ 7,260,000	282,020	△ 45,115	236,905

② 樹体共済

年度	果樹区分	組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) + (B)
		人	a	円	円	円	円
令和3年度	りんご	53	1,888	269,600,000	709,379	/	/
	なし	41	1,454	126,580,000	238,152		
	かき	12	373	12,570,000	6,571		
	計	106	3,715	408,750,000	954,102		
令和4年度	りんご	50	1,713	261,540,000	539,762	/	/
	なし	43	1,336	118,870,000	147,487		
	かき	10	314	10,590,000	4,222		
	計	103	3,363	391,000,000	691,471		
前年度比		△ 3	△ 352	△ 17,750,000	△ 262,631	△ 115,041	△ 377,672

(引受)

収穫共済の引受面積について、りんごは昨年産に対して1.4ha減の28.5ha、なしは4.8ha減の19.9ha、かきは0.7ha減の10.7haとなった。いずれも収入保険への加入移行もしくは廃業による加入減少が主な要因で、これによって収穫共済の共済金額は1億5,644万円となり、昨年産より726万円減少した。

樹体共済の引受面積について、りんごは昨年度に対して1.8ha減の17.1ha、なしは1.2ha減の13.4ha、かきは0.6ha減の3.1haとなった。いずれも廃業もしくは加入継続取り止めによる加入減少が要因で、これによって樹体共済の共済金額は3億9,100万円となり、昨年度より1,775万円減少した。

( 被 害 )

果 樹 区 分		被 害 組 合 員 数	共 済 金	共済金 共済金額
収 穫 共 済	り ん ご	2	61,000	0.1
	な し	5	382,300	0.5
	か き	5	204,100	1.4
	計	12	647,400	1.9
樹 体 共 済	り ん ご	7	1,856,935	0.7
	な し	2	437,319	0.3
	か き	—	—	—
	計	9	2,294,254	1.0
合 計		21	2,941,654	

( 支 払 )

果 樹 区 分	支 払 月 日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共 済 金
			保 険 金	手 持 掛 金 充 当 額	法 定 積 立 金 充 当 額	特 別 積 立 金 充 当 額	そ の 他	
収 穫 共 済	り ん ご	令和5年2月27日	61,000	61,000			0	100
	な し	令和4年12月27日	382,300	382,300			0	100
	か き	令和5年2月27日	204,100	204,100			0	100
	計		647,400	647,400			0	100
樹 体 共 済	り ん ご	令和4年7月15日	1,856,935	1,856,935			0	100
	な し	令和4年7月15日	437,319	437,319			0	100
	か き	—	—	—			—	—
	計		2,294,254	2,294,254			0	100
合 計			2,941,654	2,941,654	0	0	0	100.0

( 被 害 )

収穫共済では、令和4年5月2日の降雹の影響で、なしにおいて傷果が発生した。また同年5月10日からなし園地において黒星病が確認された。8月中旬頃の多雨によってりんごでは褐斑病及び炭疽病、かきでは炭疽病が発生した。8月16日の強風ではりんごの主枝が折損し、台風11号（令和4年9月6日最接近）及び台風14号（同9月20日最接近）による強風ではりんご、なし、かきに落果、傷果の被害が発生した。

樹体共済では、令和3年8月9日及び同年11月25日の強風の影響により、主枝・主幹の折損や倒木被害が発生した。また、夏季に続いた高温の影響で樹勢が弱まり、活発化した木材腐朽菌によって樹体が枯死する被害が発生した。

( 損 害 防 止 )

組合員が事故の未然防止又は軽減を図るため必要な薬剤等の購入経費の一部として1,360,057円を交付した。また、虫害に係る発生予察として、りんごでチャバネアオカメムシ、キンモンホソガ等の6地点、かきでフジコナカイガラムシ1地点の調査を実施した。

(4) 畑作物共済関係

( 引 受 )

年度	畑作物区分	項目	組合員数	引受面積	共 済 金 額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) + (B)
令和 4 年 度	大 豆		320	235,284	609,992,579	22,963,874	/	/
			49	17,081	24,976,264	1,278,518		
	うち地域インデックス方式	18	2,557	2,263,138	57,316			
	<b>計</b>	<b>延</b> 369 <b>実</b> 364	<b>252,365</b>	<b>634,968,843</b>	<b>24,242,392</b>	<b>15,937,909</b>		

( 被 害 )

畑作物区分	項目	被害組合員数	共 済 金	共済金	
				共済金額	%
大 豆		218	95,493,198		15.7
		22	6,266,475		27.6
<b>計</b>	<b>延</b>	<b>240</b>	<b>101,759,673</b>		<b>16.1</b>
	<b>実</b>	<b>238</b>			

※畑作物区分そばのうち、地域インデックス方式は共済金が未確定のため実績に含まない。

( 支 払 )

畑作物区分	項目	支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金	
				保険金	手持掛金充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	その他	共 済 金	
大 豆		令和4年12月27日 令和5年 3月30日	95,493,198	/	円	円	円	円	円	%
						37,952,565			0	100.0
そ ば		令和5年 3月30日	6,266,475	/		2,185,546			0	100.0
<b>計</b>			<b>101,759,673</b>	<b>51,658,299</b>	<b>40,138,111</b>	<b>9,921,073</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>100.0</b>	

( 引 受 )

大豆は、作付面積4,510ha(農林水産省公表)に対し引受面積は52.2%の2,353haで、作付面積の減少及び収入保険への移行により前年産に対し約829ha減少した。共済金額は6億999万円となり、前年産より約2億749万円減少した。そばは、作付面積547ha(農林水産省公表)に対し引受面積は31.2%の171ha、共済金額は2,498万円となった。

( 損害防止 )

組合員が事故の未然防止又は軽減を図るため必要な薬剤等の購入経費の一部として、大豆では7,293,657円、そばでは271,679円を交付した。また、大豆の主要害虫であるハスモンヨトウの予察調査を6ヵ所、ウコンノメイガ、カメムシ等の生育期害虫調査を8ヵ所、ネキリムシ調査を1ヵ所で実施した。

( 被 害 )

大豆は、播種直後のまとまった降雨の影響により土壌湿潤害が発生し生育不良となった。また、8月中旬から9月上旬の低日射の影響で粒の肥大が緩慢となり小粒傾向となった。一部の圃場では、青立ち(莢先熟)や黒根腐病、9月の台風の影響による倒伏被害が発生した。そばは、播種期から発芽期にあたる8月中旬及び9月上旬の降水量が多かったことから、土壌湿潤害が発生し生育不良となった。また、9月に県内に接近した台風11号及び14号の強風、大雨の影響により倒伏する被害が発生した。

(5) 園芸施設共済関係

( 引 受 )

施設区分	項 目		設置面積 ㎡	共 済 価 額 万円	共 済 金 額 万円	徴収共済掛金 ( A ) 円	交 付 金 又 は 納 入 保 険 料 ( B ) 円	手持共済掛金 ( A ) + ( B ) 円
	組 合 員 数 人	引 受 棟 数 棟						
ガラス室 I 類	—	—	—	—	—	—	—	—
ガラス室 II 類	29	52	14,422	21,229	18,858	137,609	71,692	209,301
プラスチックハウス I 類	—	—	—	—	—	—	—	—
プラスチックハウス II 類	935	3,871	690,223	345,712	304,121	22,099,665	7,011,476	29,111,141
プラスチックハウス III 類	2	5	1,485	1,330	1,080	91,794	32,475	124,269
プラスチックハウス IV 類甲	26	41	13,402	17,664	14,141	544,986	98,382	643,368
プラスチックハウス IV 類乙	32	49	24,747	38,879	33,135	819,743	146,173	965,916
プラスチックハウス V 類	7	8	2,465	2,526	2,098	48,622	39,856	88,478
プラスチックハウス VI 類	6	28	10,851	6,242	5,057	388,608	112,582	501,190
プラスチックハウス VII 類	—	—	—	—	—	—	—	—
<b>計</b>	<b>1,037</b>	<b>4,054</b>	<b>757,595</b>	<b>433,582</b>	<b>378,490</b>	<b>24,131,027</b>	<b>7,512,636</b>	<b>31,643,663</b>

( 被 害 )

施設区分	被 害			損 害 の 額 円	共 済 金					共 済 金 共 済 金 額 %	
	組 合 員 数 人	棟 数 棟	附 帯 施 設 数 基		特 定 園 芸 施 設 円	附 帯 施 設 円	施 設 内 農 作 物 円	撤 去 費 用 円	復 旧 費 用 円		合 計 円
ガラス室 I 類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ガラス室 II 類	1	2	0	28,049	22,438	0	0	0	0	22,438	0.01
プラスチックハウス I 類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
プラスチックハウス II 類	50	55	3	3,348,949	1,434,070	794,433	18,138	0	163,480	2,410,121	0.08
プラスチックハウス III 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
プラスチックハウス IV 類甲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
プラスチックハウス IV 類乙	1	1	0	173,289	138,631	0	0	0	0	138,631	0.04
プラスチックハウス V 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
プラスチックハウス VI 類	1	11	0	1,323,353	1,058,678	0	0	0	0	1,058,678	2.09
プラスチックハウス VII 類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
<b>計</b>	<b>53</b>	<b>69</b>	<b>3</b>	<b>4,873,640</b>	<b>2,653,817</b>	<b>794,433</b>	<b>18,138</b>	<b>0</b>	<b>163,480</b>	<b>3,629,868</b>	<b>0.10</b>

( 支 払 )

区分	項 目	実 支 払 共 済 金 円	共 済 金 支 払 財 源				実 支 払 共 済 金 共 済 金 %
			保 険 金 円	手 持 掛 金 充 当 額 円	法 定 積 立 金 充 当 額 円	特 別 積 立 金 充 当 額 円	
当 年 度 分		3,466,621	800,422	2,666,199			100.0
過 年 度 分		163,247	121,334	41,913			100.0
合 計		3,629,868	921,756	2,708,112	0	0	100.0

( 引 受 )

戸数加入率80%を目標に、年3回の加入推進月間を設け、育苗ハウスへの加入推進やニーズに合わせた加入コースの案内、リスク啓発のチラシ配付などを行い、前年度より127戸の増加（戸数加入率75.1%）となった。

( 損 害 防 止 )

損害防止用資材として、補修テープ（680,988円）を購入し、組合員に配付した。

( 被 害 )

当年度の被害については、9月に発生した台風11号及び14号による被害棟数は33棟で被害全体の50.0%を占め、約140万円の支払いとなった。また、当年度に発生した被害のうち、雪害により2棟の全壊被害が発生した。

過年度分については、令和3年3月の春の強風による被害のうち復旧費用等に係る支払いが約16万円となった。

(6) 任意共済関係

① 建物共済

( 引 受 )

項目 区分	加入 棟数	共済金額 千円	共済掛金		1棟当たり 平均共済金額 千円	任意保険料 円	保険手数料 円
			純共済掛金 円	賦課金 円			
計	68,442	1,099,309,290	515,830,670	348,486,577	16,062	280,888,232	95,528,353

上記引受は、年度内満了短期月引受を含む。

項目 種類	加入 棟数	共済金額 千円	共済掛金	
			純共済掛金 円	賦課金 円
総合共済	6,068	60,916,290	110,652,624	34,928,659
火災共済	62,374	1,038,393,000	405,178,046	313,557,918
計	68,442	1,099,309,290	515,830,670	348,486,577

共済掛金等総額 864,317,247 円

任意保険割合	地震等部分	50.0 %
	地震等以外	30.0 %
保険手数料割合	総合共済	19.50 %
	火災共済	39.12 %

※保険手数料の割合は物件等毎に異なるため、平均の割合とした。

( 事 故 )

事故 棟数	加入総共済金額 (イ) 千円	支払共済金 (ロ)		任意保険金 円	被害率 $\frac{(ロ)}{(イ)}$ %
		火災 円	風水害等 円		
棟 865	12,922,480	147,711,765	118,072,519	79,773,230	2.1



(原因別事故発生状況)

項目 事故の原因	事故棟数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	任意保険金	被害率 $\frac{(ロ)}{(イ)}$
失火	棟 18	千円 256,900	円 147,711,765	円 44,313,520	% 57.5
落雷	224	3,803,100	25,120,167	7,535,958	0.7
自然災害	418	4,920,300	75,822,054	22,746,458	1.5
その他	205	3,942,180	17,130,298	5,139,044	0.4
計	865	12,922,480	265,784,284	79,734,980	2.1

② 農機具共済

(引受)

区分 項目	加入台数	共済金額	共済掛金		1台あたり 平均共済金額
			純共済掛金	賦課金	
計	台 3,489	千円 12,203,000	円 42,388,004	円 17,335,465	円 3,497,564

(事故)

区分 項目	事故台数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	被害率 $\frac{(ロ)}{(イ)}$
計	台 252	千円 1,267,580	円 42,216,233	% 3.3

③ 保管中農産物補償共済

(引受)

区分 項目	加入戸数	共済金額	共済掛金等		保険料等
			共済掛金	賦課金	
水稲	戸 6	千円 16,000	円 44,800	円 19,200	円 39,106
大豆	1	2,000	3,500	1,500	7,448
計	7	18,000	48,300	20,700	46,554

(事故)

区分 項目	事故件数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	被害率 $\frac{(ロ)}{(イ)}$
水稲	件 -	千円 -	円 -	% -
大豆	-	-	-	-
計	0	0	0	0.0

(引受)

建物共済は共済金額1兆993億929万円と前年度実績に対し313億6,080万円の減少となったが、近年多発する自然災害に備えた総合共済の推進に努めたことから、総合共済は前年度実績に対し197棟、共済金額で22億3,231万円の増加となった。

農機具共済は、共済金額122億300万円と前年度実績に対し、6億5,714万円の増加となった。

(事故)

建物共済の事故については865棟、支払共済金が約2億6,578万円となり、前年度に対し棟数は107棟増となり、支払共済金は約6,755万円の増となった。原因別では、自然災害が418棟と最も多く、前年より134棟の増となった。

農機具共済の事故については252台で、支払共済金は約4,221万円となった。前年度に対し台数で4台の減となり、支払共済金は315万円の減となった。